

令和7年度 学校評価アンケート結果（全日制・生徒〔全体〕）

		評価 4：そう思う	3：ある程度そう思う	2：あまりそう思わない	1：まったくそう思わない	※は自己評価				
評価項目	番号	評価内容	評価（％） 上段R7・下段R6（空欄はR7の新規項目）							
			4	3	2	1				
授業及び学習活動	1	先生は、「シラバス」などを用いて、教育課程や年間指導計画について、きちんと説明してくれている。	36.0	46.0	13.7	4.3	38.0	54.8	5.4	1.8
	2	先生は、生徒の学習意欲が高まるように考え、授業を工夫している。	41.4	51.2	7.4	0.0	39.4	53.8	6.3	0.5
	3	授業はわかりやすく、自分のためになるものであると感じられる。	37.0	53.1	9.3	0.6	44.3	49.8	4.1	1.8
	4	定期考査の内容や難しきは適当で、評価は妥当である。	29.6	56.2	10.5	3.7	35.3	54.8	8.1	1.8
	※5	自分は、授業に意欲的に取り組み、積極的に参加しようとしている。	32.1	56.2	11.1	0.6				
学校生活	6	先生は、公正な態度で、生徒の服装や生活態度の乱れを見逃さず、きちんと指導している。	36.0	51.6	9.9	2.5	44.3	44.8	7.7	3.2
	7	先生と生徒の信頼関係が厚く、人間関係は良好である。	43.8	45.7	9.3	1.2	50.7	42.5	5.0	1.8
	※8	自分は、小豆島中央高校生として学校の規則や社会のルールを守っている。	52.5	44.4	3.1	0.0				
	※9	自分は、清掃に積極的に取り組み、学校の美化に努めようとしている。	45.1	49.4	4.9	0.6				
進路指導	10	先生は、生徒の希望をよく聞いて、生徒が希望する進路に進めるように、適切な指導・助言を行っている。	50.0	45.1	3.7	1.2	55.2	37.6	5.4	1.8
	11	先生は、きちんと情報提供を行い、生徒・保護者と連携して進路指導を行っている。	50.9	40.4	8.1	0.6	49.8	44.8	4.5	0.9
教育相談・支援	12	先生は、一人ひとりの生徒に対して、その生徒に応じた適切な対応をしている。	50.6	45.7	3.7	0.0	48.0	44.3	6.3	1.4
部活動	13	部活動の先生は、熱心に指導してくれている。	46.2	38.6	12.0	3.2	53.8	32.1	7.7	5.0
	14	部活動の先生は、公正・公平で、よく部員の話聞いてくれ、一人ひとりを大切にしている運営を行っている。	46.8	38.6	12.0	2.5	53.4	33.5	9.0	2.7
	15	部活動の練習量や活動の量は適当である。	36.7	45.6	14.6	3.2	48.0	38.9	8.1	3.6
学校行事	16	内容は充実しており、時期・内容などは適当である。	51.2	41.4	6.8	0.6	57.5	35.7	5.0	1.8
	17	全員が参加できるように工夫されており、一人ひとりにとって実りあるものになっている。	54.3	41.4	3.7	0.6	57.5	37.6	3.2	1.8
	※18	自分は、学校行事に意欲的に取り組み、積極的に参加しようとしている。	58.6	37.0	3.1	1.2				
人権・同和教育	19	先生は、いじめの兆候をいち早く把握するよう努力し、問題を隠さず迅速に対応しようとしている。	38.9	53.7	3.7	3.7	44.3	43.4	9.5	2.7
	20	先生は、生徒のお互いの人権を大切にする気持ちを育て、より高い人権意識をもつように指導している。	43.8	47.5	6.2	2.5	46.2	46.2	5.0	2.7
	※21	自分は、自分とまわりの人の人権を大切に、よりよい学校にしようとしている。	48.8	45.7	3.1	2.5				
学校安全	22	学校の設備は安全で充実しており、学習や部活動に支障がない。	42.6	49.4	6.8	1.2	48.4	42.1	7.2	2.3
	23	防災訓練や避難訓練が適切に行なわれている。	53.1	43.2	3.7	0.0	57.9	37.1	3.6	1.4
その他	24	小豆島中央高校で高校生活を送って良かった。(3年生のみ)	68.6	22.9	5.7	2.9	53.0	41.9	3.4	1.7

【分析等】

- ・地域の中学生のほとんどすべてをお預かりしている本校にとって「授業及び学習活動」の各項目で「3」「4」割近いことは、重要である。これは、ありとあらゆる進路希望を持つ生徒に対して日々丁寧に対応している先生方の教科指導力の賜物である。引き続き、毎日の授業を大切に、生徒の「分かった!」「できた!」を大事にしていきたい。
- ・一方でシラバスを用いて年間の指導計画を説明している等については数値が低い(「2」「1」がすべての項目の中で最も高い)。毎時間、その説明しているわけではないので生徒の記憶に残っていないということもあるが、1年間ないし3年間を見通しての授業計画は、全体の中での位置づけや目的、狙いを明確にさせ、それが生徒の理解や定着を深めることにもつながるものである。日々の授業において、意識して取り組んでいきたい。
- ・学校生活の6、7。数にすると15名程度であるが「1」「2」が見受けられる。私たちの指導は対象生徒だけではなく、周りの生徒を含めての指導であることを意識しておきたい。
- ・部活動においては1割5分程度の生徒が「1」「2」と答えている。部活動は、「教育課程外」であり様々な意識や目的を持つ者が混在している。また、顧問も必ずしも専門家とは限らない。場合によっては指導者と生徒、あるいは生徒同士で温度差や幅があり、ミスマッチが起こりうるものである。「全国をめざす」から「健康増進」「レク」までさまざまである。それゆえ評価もさまざまであるが(「2」「1」が項目1に次いで高い)、そういったことを認識した上での丁寧な指導が求められている。
- ・項目24が今回は「4」が7割に迫る数値となった。引き続き、この数値が100になるよう一丸となって日々の教育活動に取り組んでいきたい。
- ・生徒の自己評価のうち項目5「自分は、授業に意欲的に取り組み、積極的に参加しようとしている。」が32%と最も低い。「授業を大切に」を合言葉にこれからも教科指導にしっかり取り組んでいきたい。